

令和 4 年度 墨田区立横川小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 3 日

| | |
|-------------|---|
| 学 校 目 標 | 人権尊重の精神を培い、社会の変化に主体的に関わり、感性豊かで、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の児童像を定め、教育を推進する。 ○すすんでよく学ぶ子ども ○からだをきたえる子ども ○なかよく助けあう子ども |
| 目 指 す 学 校 像 | 「笑顔かがやく学校」を目指し、そのために次の 4 つを掲げる。 ・子どもが主体的・対話的に学び合う学校 ・子どもが目標をもち、学校生活の中で切磋琢磨しながら心身を鍛える学校 ・子どもがやさしい気持ちを持ち、互いに思いやり、集団のルールを守る規律ある学校 ・子どもの居場所を、学校・保護者・地域が協力・協働し、共につくる学校 |
| 目 指 す 子 供 像 | 「学びあい、助けあい、笑顔かがやく横川っ子」を合言葉に ・すすんでよく学ぶ子ども 自ら考え、人と考えを深め、高めることができる子ども ・からだをきたえる子ども 自ら心も身体もきたえることができる子ども ・なかよく助けあう子ども 自ら温かく強い心を持ち、自分・友だちなど思いやる子ども |
| 目 指 す 教 師 像 | ・一人一人のよさを伸ばし、子供が主体的・対話的に学び合うことを指導できる教師 ・子どもを愛し、子どもの思いを受け止め、良いこと、悪いことをしっかりと教える教師 ・学校・保護者・地域が連携したよりよい学習の場をマネジメントできる教師 |

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------|--|------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 各教科等指導 | 学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。 | B | 全体として学校状況調査の結果は全国平均を上回った。ただし、教科・学年によっては学習内容を深める時間が十分ではないものがあり、今後はさらに個別の学習の工夫が必要である。 | B | A |
| | 学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。 | B | 校内委員会等により特別な支援を要する児童への情報共有を定期的実施した。配慮に応じた人的支援及び学習・生活環境の整備について引き続き配慮していく必要がある。 | B | B |
| | 学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。 | B | 本所中学校をはじめ、幼稚園・保育園及び子ども家庭支援センター等の連携ができた。コロナ対応後の教育活動では、さらなる充実のため取り組んでいく必要がある。 | B | B |
| | 学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。 | B | 学習状況調査に基づいた授業改善及びコロナ禍での学習ツールとしての活用に取り組んだ。さらに個別最適な効果のためにタブレット等のデジタル教材の活用が必要である。 | B | A |
| | 個に応じた指導の充実に取り組んでいるか。 | B | 学習を苦手とする児童に対して、個別の課題、放課後チャレンジ教室等を通じて基礎学力の定着及び学習の向上を図っている。指導時間及び家庭学習等の工夫が必要である。 | B | B |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | | ・学校公開の際、児童が授業を受ける様子は近年になく落ち着いて静かに聞く様子が立派だった。 ・コロナ感染症対策によって、授業や学校の様子では、まだわからない事が多い。 | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|-------|--|------|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 生活指導等 | 学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。 | A | いじめ問題及び子供同士のトラブルについて取り組み、解決及び見守り案件は 0 件となった。さらに組織的な体制として未然防止等の向上が必要である。 | B | A |
| | 学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。 | B | 学校生活の規則正しい習慣やコロナ感染症対策におけるルールの徹底を実施し、一人一人が意識して行動できた。長期間継続するコロナ感染症対策等での心のケアは必要である。 | B | B |
| | 学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行っているか。 | A | コロナ感染症対策を徹底し、学校での感染予防に努め、校内感染は無かった。さらに対応の変化での家庭との連携や体制強化をしていく必要がある。 | B | A |

様式 4

| | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|
| | 学校は、子どもや保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。 | A | コロナ感染症対策での運動会、周年行事や展覧会等では、工夫しながら実施できた。さらに学校アンケート等を実施し学校の課題、保護者・地域のご意見への把握し改善に努めた。改善に至らないことは継続的に取り組む必要がある。 | A | A |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供達はコロナ禍での生活を理解し行動している。感染症対策の意識が高いと感じる。今の生活からは人間関係の希薄さを心配している。 ・あいさつや言葉使いなど学校だけではなく、家庭や地域でもできるとよい。 | | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|--|---|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 学校の管理運営 | 学校は、120周年の記念行事を計画し適切に実施することなど、学校運営しているか。 | A | 周年の記念式典及び関連行事について、参列者、協賛会、実行委員会等からは高い評価であった。この取組を次の周年及び学校行事等に生かしていきたい。 | A | A |
| | 学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。 | A | 経営方針で示した教育活動は概ね計画的に実行することができた。ただし、校内の学童クラブの設置や校庭改修等での取組に合わせた対応や使用方法の改善など工夫が必要である。 | B | A |
| | 学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。 | B | コロナ感染症対策を踏まえた中でも周年行事や学校行事等の教育活動に取り組めた。学校評価、保護者アンケート等では概ね肯定的な結果であった。さらに結果から改善していきたい。 | B | B |
| | 学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。 | B | 校庭及び敷地のフェンス改修が計画通りに実施できた。安全面における本校の教育環境の向上につながった。施設の向上はもちろん不審者対応等でも万全な取組を行っていく必要がある。 | B | A |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・120周年の記念行事ではコロナ感染症対策の中でも大変素晴らしいものであった。 ・正門のセキュリティについてはさらに強化した方がよい | | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|--|---|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 家庭・地域連携 | 学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。 | A | 学校公開及び学校行事の開催ではコロナ感染症対策を講じながら実施し、保護者アンケートでは90%の満足度が得られた。さらに学校便り及びホームページ等の情報発信についても工夫しながら推進していく必要がある。 | A | A |
| | 学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。 | A | 保護者や地域からは教育活動への理解、協力・支援が大きく、感染症対策の中でも充実した周年関連行事、展覧会等の開催ができた。さらに連携関係を構築しながら推進していく必要がある。 | A | A |
| | 学校は、地域や関係機関と連携した教育的な実践を行っているか。 | B | 必要に応じて警察の見守りや児童相談所への相談を実施し、子供についての健全育成を図っている。今後も問題行動等への未然防止や早期発見に努めていく必要がある。 | B | B |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・連合子供会行事への協力に感謝している。来年度はさらに多くの行事が開催できるようにしたい。 ・地域として子供達の健全育成に協力していきたい。 | | | |

2 令和4年度学校評価のまとめ

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価では、保護者及び地域の学校関係者の皆様から教育活動の成果及び感染症対策を行って実施した周年行事や展覧会等、学校行事の取組に一定の評価をいただいたことは平素からの学校教育活動への期待であると考えます。 ・いじめ、不登校等の問題行動への対応、学力向上やタブレット端末の授業活用は評価をいただいた反面、さらに児童の学力向上、生活・学習規律の徹底や安全面での教育環境の整備が必要であると考えます。 |
|--|